

2020 年度（令和 2 年度） 公社事業の概要

○ 2020（令和 2）年度事業運営について

当社は、2017(平成 29)年 3 月に策定した「中期経営計画」の 4 つの基本方針である「安全安心な施設・設備の充実」、「地域と連携した利用促進策の推進」、「お客様へのサービスの充実」及び「経営基盤の強化」のための取組の実施計画は概ね順調に進んでいます。

しかし、計画開始から 3 年が経過し、少子高齢化の急速な進行、横須賀・三浦地区での人口や事業所数の減少、新たな道路網の整備による交通流動の変化、さらには異常気象による道路交通の影響などにより、有料道路の通行料収入が計画目標を下回る状況が続いています。

そうした中、当初から 2017（平成 29）年度から 2021（令和 3）年度までの 5 年間は借入金の償還金額のピークにあたり、支出額が収入額を上回る状況を見込んでいましたが予定通り借入金を返済し、また、利用者の皆様からの ETC 設置の強い要望、国や県のキャッシュレス化への取組み等を踏まえ、管理する有料道路へのネットワーク（ワンストップ）型 ETC 導入に向けた取組を行うこととしました。

このように中期経営計画の経営環境の変化が生じていることから、2020 年 3 月に「中期経営計画」を改訂しました。

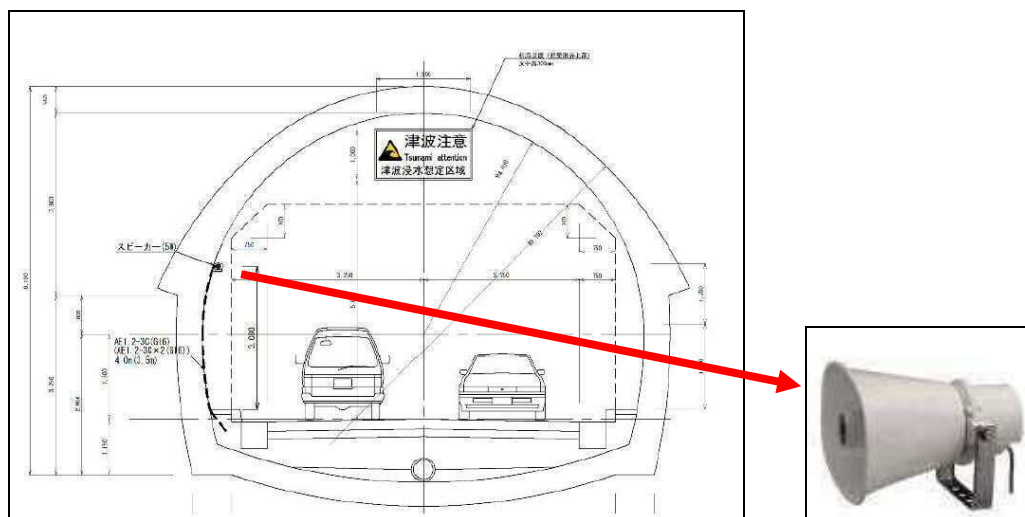
その結果、当初計画で予定した、2021（令和 3）年度の資金残額 2 億 5,500 万円が 1 億 3,800 万円に下方修正されますが、今後の 2 年間の計画残期間も 4 つの基本方針のための取組を着実に推進していきます。

1 有料道路事業

管理する 4 路線の有料道路については、通常の間検、維持修繕に加え施設の長寿命化のための取組を行うとともに、地震や台風等の自然災害に備えた更なる対策を、また、キャッシュレス化への対応のため、ネットワーク（ワンストップ）型 ETC 導入への取組みを進め、社会実験の実施など、関係機関との調整等を引き続き実施していきます。

（1）真鶴道路

従前より実施してきた、南海トラフ地震等に備えた津波避難誘導設備等の整備の一環として、トンネル内拡声器（スピーカー）設備の新規設置工事を実施し、津波が発生した際にも、利用者がいち早く安全に避難行動を取れるようにします。



真鶴トンネル 拡声器設備設置イメージ

(2) 本町山中有料道路

昨年度に続き、ネットワーク（ワンストップ）型 ETC 導入に向けた取組みを進め、社会実験に向けた関係機関との調整を引き続き実施していきます。



本町山中有料道路



ETC 読取イメージ

また、2022 年 3 月に料金徴収期間が満了になる事から、これに向けた準備を引き続き進めてまいります。

(3) 三浦縦貫道路

SDGs（持続可能な開発目標）への取組の「目標 7: エネルギーをみんなにそしてクリーンに」を推進するため、高圧水銀ランプを使用している既設道路照明灯を点検結果に従い、順次 LED 照明への更新工事を実施します。



LED道路照明灯

(4) 逗葉新道

通行車両の安全確保のため、点検時に経年劣化による損傷の見られたブロック積み擁壁の補修工事を実施し、崩落事故の発生を未然に防止します。



逗葉新道 ブロック積み補修工事

(5) 三浦縦貫道路・逗葉新道（共通）

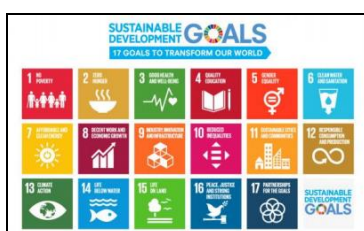
現在のナトリウム灯から、LED照明への更新工事発注に必要な、トンネル照明灯の再配置、照度確保等の検討を含めた、トンネル照明等詳細設計業務委託を実施します。

これにより、効率的なLED照明への更新工事を計画的に行え、消費電力の大幅な削減を目指します。



三浦縦貫道路 衣笠太田和トンネル内、照明灯配置状況

当会社ではSDGs（持続可能な開発目標）の推進・目標7「すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。」を、道路施設照明等のLED化により、積極的に取り組んでいます。



2 駐車場事業

圏央道田端高架橋駐車場(寒川町田端地内)の新規整備工事を行い、2020（令和2）年7月を目途に、約125台収容の月極駐車場の営業を開始します。



圏央道田端駐車場 整備予定地

3 神奈川県からの受託事業

真鶴道路における道路施設の防災、長寿命化対策として、従前から進めているトンネル大規模修繕工事（ひび割れ注入工等）を引き続き実施し、通行車両への落下等の被害を未然に防ぎます。



道路災害防除工事 真鶴トンネル完成

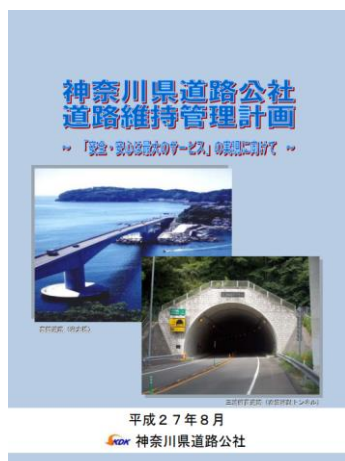
4 長期借入金の償還

道路建設に係る国及び県等からの長期借入金を計画に基づき着実に償還します。

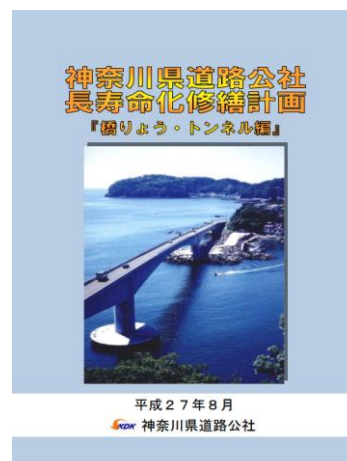
5 中期経営計画の取組み

(1) 安全・安心な施設・設備の整備

平成 27 年度に策定した「道路維持管理計画」と「長寿命化修繕計画」により見直しを行った道路施設等維持修繕 5 か年計画に基づき、引き続き計画的な補修及び効率的な維持管理に取り組むと共に、当初の予定通り「長寿命化修繕計画」の改訂を 2020（令和 2）年度に公表します。



(道路維持管理計画)



(長寿命化修繕計画)

(2) 地域と連携した利用促進策の推進

平成 27 年度に当公社を含む、伊豆・箱根・西湘地区の有料道路会社 7 社で立ち上げた利用促進連絡協議会を通じて、引き続き西湘、箱根、伊豆地域におけるスタンプラリーを開催します。

また、県や地元自治体と連携して、地元観光施設等との提携を進めることにより有料道路及び駐車場の利用促進を図ります。



「2020 伊豆・箱根ぐるっと満喫スタンプラリー」パンフレット

(3) お客様へのサービスの充実

2020（令和 2）年度に予定されている三浦縦貫道路Ⅱ期先行整備区

間の供用開始に併せて、接続する区間に道路情報板を設置し、サービスの充実を図ります。



情報板設置予定位置全景（三浦方面に向かって撮影 2020.3.9）

（４）経営改善

当公社作成の「広域ドライブマップ」に加え、「首都高ドライブ MAP」への広告掲載などの複数媒体による広報活動の継続や、地元観光施設とタイアップしたイベント等を開催し、利用促進に努めます。

また、駐車場の増収対策として、更なる新規駐車場の開拓や、各駐車場の特色と状況に応じた運営方法の見直しを行い、地元市等と協働しながら利用促進を図ってまいります。

6 その他

（１）中期経営計画の見直しについて

平成 29 年度に策定された中期経営計画が、計画開始より 3 年が経過し、有料道路の通行料収入が計画目標を下回る状況が続き、経営環境の変化が生じていることから、2020 年 3 月に計画を改訂しました。（再掲）

（２）役員報酬の削減について

当公社は「中期経営計画」に基づき様々な利用促進策に取り組んできましたが、引き続き経営努力が必要なことから、平成 22 年 3 月から実施している、役員報酬の削減措置を継続して実施します。

2020年度(令和2)年度予算の特徴

1 基本方針A 安心安全な施設・設備の充実

単位:千円)

(1) 耐震補強、災害・緊急時対策 (135,500)

耐震補強、災害・緊急時対策については、路線毎に計画的に実施しています。
2020年度は、真鶴道路において次のような対策を実施してまいります。

真鶴道路

- ア 真鶴トンネル消火送水管更新工事
- イ 新島トンネル防災受信盤等更新工事
- ウ 気象観測局更新工事
- エ 道路災害防除工事(トンネル老朽化対策等)【受託】

(2) 事故等の防止対策 (29,200)

安全な道路交通を確保するために、次のような事故等の防止対策を実施してまいります。

真鶴道路

- ・トンネル側溝改修工事

逗葉新道

- [新]・ブロック積補修工事

(3) 道路の走行環境の維持・向上 (61,950)

快適な走行環境の維持及び向上のために、次のような補修工事をしてまいります。

真鶴道路

- ・安全施設等取替工事(拡声施設新設等)

三浦縦貫道路

- ア 小型道路情報板更新工事
- イ 橋梁伸縮装置補修工事

逗葉新道

- [新]・舗装補修等工事

(4) 長寿命化対策等 (233,796)

平成27年度に策定した道路維持管理計画、長寿命化修繕計画に基づき、次のような長寿命化対策等を実施してまいります。

真鶴道路

- ア 西換気所受配電設備更新等工事【債務負担行為】
- イ 新吉浜橋塩害対策補修工事
- ウ 道路災害防除工事(トンネル老朽化対策等)【受託】【再掲】

4路線(法令に基づく点検業務委託等)

- ア 道路付属物点検業務委託
(三浦縦貫道路、真鶴道路、逗葉新道)
- イ 道路トンネル照明設備更新詳細設計業務委託
(三浦縦貫道路、逗葉新道)

2 基本方針B 地域と連携した利用促進策の推進

単位:千円)

- | | |
|--|-----------|
| (1) 地元自治体との連携 | (7,013) |
| 地元観光案内を掲載した広報活動を行います。 | |
| ア 当公社制作の広域ドライブマップによる広報活動
(神奈川東部、西湘・伊豆) | |
| イ 一般媒体による広報活動
(首都高ドライブMAP、地元市町広報誌) | |

3 基本方針C お客様へのサービスの充実

単位:千円)

- | | |
|---|------------|
| (1) 新規サービスシステムの導入・拡大 | (40,880) |
| ネットワーク(ワンストップ)型ETCシステムの導入に向けた社会実験 | |
| (2) 利用者へのサービスの充実 | (2,574) |
| 利用者により一層便利に、また安全に安心して利用していただくため、次のようなサービスの提供をまいります。 | |
| [新] 逗子海岸ロードオアシスのトイレ補修工事 | |
| (3) 有料道路を知っていただくための取組 | (—) |
| 地域の方々に対する道路施設見学会等の開催
・真鶴道路における施設見学会の継続開催 | |

4 基本方針D 経営基盤の強化

単位:千円)

- | | |
|---|------------|
| (1) 利用促進 | (9,613) |
| 道路関連事業者や地元と連携した各種利用促進対策を実施し、事業収入を確保してまいります。 | |
| ア 当公社制作の広域ドライブマップによる広報活動[再掲]
(神奈川東部、西湘・伊豆) | |
| イ 一般媒体による広報活動[再掲]
(首都高ドライブMAP、地元市町広報誌) | |
| ウ 有料道路4路線における利用促進事業
(スタンプラリーや地元と連携したイベント等)の拡大 | |
| (2) 駐車場における増収対策 | (37,000) |
| [新]・圏央道田端駐車場の新規開設に係る駐車場整備工事 | |
| (3) 組織の活性化対策 | (2,500) |
| 全職員から新規企画案や改善案を募集し、評価のうえ実施することで、組織を活性化し生産性を高めます。 | |
| ・職員提案制度案件の実現化 | |

2020(令和2)年度

神奈川県道路公社

事	業	計	画
予			算
資	金	計	画

(予算添付書類)

予定貸借対照表

予定損益計算書

その他参考書類

目 次

2020(令和2)年度 神奈川県道路公社事業計画	1
2020(令和2)年度 神奈川県道路公社予算	3
予算総則	3
2020(令和2)年度 収入支出予算	4
2020(令和2)年度 資金計画	5
(予算添付書類)	
2020(令和2)年度 予定貸借対照表	6
2020(令和2)年度 予定損益計算書	7
その他参考書類	
1. 債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書	8
2. 2020(令和2)年度 収入支出予算説明書	9
3. 2020(令和2)年度 役職員定員表	13

2020(令和2)年度 神奈川県道路公社事業計画

2020(令和2)年度における神奈川県道路公社の事業計画は、次のとおりとする。

管理計画

(1) 一般有料道路

(単位:千円)

管 理 区 間	供用開始日	本年度予定収入 (1日当たり通行台数)	延長	備考
本町山中有料道路 横須賀市汐入町1丁目～横須賀市山中町	平成4年3月21日	528,999 (6,860台)	2.6km	道路整備特別措置法第10条第1項に基づく道路
三浦縦貫道路(三浦サンサンライン) 横須賀市衣笠町～横須賀市林5丁目	平成12年3月4日	513,992 (4,677台)	4.7km	同 上
真鶴道路(真鶴ブルーライン) 足柄下郡湯河原町吉浜～足柄下郡真鶴町岩	平成20年9月4日	639,016 (9,169台)	4.5km	道路整備特別措置法第15条第1項に基づく道路

(2) 一般自動車道

(単位:千円)

管 理 区 間	供用開始日	本年度予定収入 (1日当たり通行台数)	延長	備考
逗葉新道 逗子市沼間5丁目～三浦郡葉山町長柄	昭和45年4月1日	365,986 (10,002台)	2.1km	道路運送法第47条第1項に基づく道路

(3) 駐車場

(単位:千円)

事業箇所名	供用開始日	本年度予定収入
(公社保有資産の運用)		
1 汐見高架橋駐車場	平成4年4月16日	6,384
2 林高架橋駐車場	平成12年9月1日	8,033
3 上の里高架橋駐車場	平成13年1月1日	924
4 小矢部駐車場	平成21年6月1日	748
5 西逸見駐車場	平成21年9月1日	827
(借用資産の活用)		
1 寒川駐車場	昭和53年7月1日	10,541
2 長者ヶ崎駐車場	昭和54年8月6日	15,828
3 稲村が崎駐車場	昭和57年7月1日	17,479
4 滑川駐車場	昭和57年7月1日	1,742
5 大仏前駐車場	昭和57年9月1日	24,803
6 下浦海岸駐車場	昭和58年7月15日	24,526
7 下浦駐車場	昭和58年7月15日	785
8 津久井駐車場	昭和58年7月15日	4,832
9 吉浜橋駐車場	昭和61年2月25日	106,041
10 材木座駐車場	昭和61年7月1日	21,689
11 逗子海岸駐車場	昭和62年6月15日	15,185
12 森崎大橋駐車場	平成15年10月1日	4,211
13 坂ノ下駐車場	平成23年1月1日	2,772
14 旭駐車場	平成23年4月1日	17,738
15 圏央道田端駐車場	令和2年7月(予定)	6,300
合 計		291,388

(4) 受託業務

(単位:千円)

業 務 名	業 務 内 容	本年度予定収入
真鶴道路 大規模修繕等事業	道路災害防除工事(トンネル老朽化対策等)	85,280

(5) 付帯事業収入

(単位:千円)

業 務 名	業 務 内 容	本年度予定収入
付帯事業施設収入	休憩所営業料等	28,215

2020(令和2)年度 神奈川県道路公社予算

予 算 総 則

(収入支出予算の総額)

第1条 神奈川県道路公社(以下「公社」という。)の2020(令和2)年度 収入支出予算総額は、収入については2,464,303千円、支出については2,786,276千円と定める。

2 収入の性質別の款項の区分及び支出の目的別の款項の区分は、別紙「収入支出予算」による。

(予算の弾力条項)

第2条 公社以外の者の負担に係わる下表の左欄に掲げる収入科目の金額が予算額に比して増加するときは、その増加する金額を限度として下表の右欄に掲げる支出科目に必要な経費の支出に充てることができる。

収入科目	支出科目
「業務雑収入」のうち原因者負担金	「原因者負担補修費」
「受託業務収入」	「受託業務費」

(特定預金に係る弾力条項)

第3条 次に掲げる事項については、2019(令和元)年度決算において確定する事項別の特定預金を限度として、下表の左欄に掲げる収入科目及び下表の右欄に掲げる支出科目の増額に充てることができる。

収入科目	支出科目
「退職給付特定預金収入」	「退職手当」
「有事用準備資金特定預金収入」	「維持改良費」及び「業務管理費」

(予算の流用)

第4条 次に掲げる経費は、地方道路公社法施行規則(昭和45年建設省令第21号、以下「施行規則」という。)第13条第2項に規定する予算で指定する経費とし、これらの経費の金額を相互間に流用し、又は他の経費をこれらの経費の金額に流用し、若しくはこれらの経費の金額に予備費を使用する場合は、神奈川県知事(以下「知事」という。)の承認を受けなければならない。

(項) 役職員諸給与

(項) 交 際 費

(予算の繰越)

第5条 次に掲げる経費は、施行規則第14条ただし書に規定する予算で指定する経費とし、これらの経費の金額を繰り越して使用する場合は知事の承認を受けなければならない。

(項) 役職員諸給与

(項) 交 際 費

(役職員諸給与の制限)

第6条 この予算の範囲内であっても、役職員の定員及び給与をこの予算において予定した定員及び給与の基準をこえてみだりに増加し、又は支給してはならない。

2020(令和2)年度 収入支出予算

(単位:千円)

収 入	予 算 額	支 出	予 算 額
(款)業務収入	2,454,789	(款)業務費	80,327
(項)一般有料道路料金収入	1,682,007	(項)受託業務費	80,327
(項)一般自動車道料金収入	365,986		
(項)駐車場料金収入	291,388	(款)維持改良費	614,610
(項)業務雑収入	1,913	(項)一般有料道路維持改良費	510,856
(項)受託業務収入	85,280	(項)一般自動車道維持改良費	60,762
(項)付帯事業収入	28,215	(項)駐車場維持改良費	42,992
(款)業務外収入	9,514	(款)業務管理費	646,364
(項)雑収入	3,753	(項)一般有料道路管理費	326,119
(項)共済立替金(県)	4,761	(項)一般自動車道管理費	120,890
(項)特定預金収入	1,000	(項)駐車場管理費	189,638
		(項)付帯事業施設管理費	9,717
		(款)一般管理費	403,677
		(項)役職員諸給与	199,703
		(項)管理諸費	203,814
		(項)交際費	160
		(款)業務外支出	1,036,298
		(項)市中銀行等借入金取扱諸費	1,018,774
		(項)雑支出	17,524
		(款)予備費	5,000
合 計	2,464,303	合 計	2,786,276

収 支 差 △321,973

2020(令和2)年度 資金計画

(単位:千円)

払 出		受 入	
区 分	金 額	区 分	金 額
業務費	80,327	前事業年度から繰越(※1)	656,058
受託業務費	80,327	業務収入	2,454,789
維持改良費	614,610	一般有料道路料金収入	1,682,007
一般有料道路維持改良費	510,856	一般自動車道料金収入	365,986
一般自動車道維持改良費	60,762	駐車場料金収入	291,388
駐車場維持改良費	42,992	業務雑収入	1,913
業務管理費	646,364	受託業務収入	85,280
一般有料道路管理費	326,119	付帯事業収入	28,215
一般自動車道管理費	120,890	業務外収入	9,514
駐車場管理費	189,638	雑収入	3,753
付帯事業施設管理費	9,717	共済立替金(県)	4,761
一般管理費	403,677	特定預金収入	1,000
役職員諸給与	199,703		
管理諸費	203,814		
交際費	160		
業務外支出	1,036,298		
市中銀行等借入金取扱諸費	1,018,774		
雑支出	17,524		
予備費	5,000		
翌事業年度への繰越(※2)	334,085		
合 計	3,120,361	合 計	3,120,361

※1、※2 有事用準備資金特定預金600,000千円を除く。

(予算添付書類)

2020(令和2)年度 予定貸借対照表

(2021(令和3)年3月31日)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
流動資産	350,947	流動負債	1,251,109
現金・預金	334,085	未払金等	171,506
未収金等	16,862	一年内返済予定長期借入金	1,060,000
		賞与引当金	19,603
固定資産	38,554,373		
事業資産	37,523,726	固定負債	236,356
道路	38,463,060	退職給付引当金	166,370
道路減価償却累計額	△1,063,060	長期預り金	5,800
駐車場	383,905	PCB処理引当金	44,600
駐車場減価償却累計額	△260,179	リース債務	19,586
有形固定資産	211,337		
建物	39,127	特別法上の引当金等	15,090,396
建物付属設備	28,460	道路事業損失補填引当金	2,726,547
構築物	13,312	償還準備金	10,885,368
工具器具及び備品	30,550	特別道路管理準備金	1,478,481
機械及び装置	18,930		
土地	128,382	(負債合計)	16,577,861
リース資産	59,695		
有形固定資産減価償却累計額	△107,119	基本金	10,781,000
無形固定資産	3,853	出資金	10,781,000
投資その他の固定資産(※)	815,457		
		剰余金	11,546,459
		準備金	11,381,109
		当期利益	165,350
		(資本合計)	22,327,459
合 計	38,905,320	合 計	38,905,320

※ 有事用準備資金 600,000 千円を含む。

2020(令和2)年度 予定損益計算書
(2020(令和2)年4月1日～2021(令和3)年3月31日)

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
管理業務費	1,221,610	業務収入	2,369,509
一般有料道路管理業務費	835,981	一般有料道路料金収入	1,682,007
一般自動車道管理業務費	180,693	一般自動車道料金収入	365,986
駐車場管理業務費	195,219	駐車場料金収入	291,388
付帯事業管理業務費	9,717	付帯事業収入	28,215
		業務雑収入	1,913
一般管理費	403,677		
諸減価償却費	409,986	受託業務収入	85,280
償還準備金繰入額	394,614		
駐車場減価償却費	10,024	業務外収入	9,514
固定資産減価償却費	5,348	雑益	9,514
諸引当損	159,577		
道路事業損失補填引当金繰入損	96,573		
特別道路管理準備金繰入損	46,482		
退職給付引当金繰入	16,522		
受託業務費	80,327		
業務外費用	18,776		
支払利息	18,774		
雑損	2		
予備費	5,000		
当期利益	165,350		
合 計	2,464,303	合 計	2,464,303

その他参考書類

1. 債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額
又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

(既設定及び新規設定)

事 項	限 度 額	区 分	期 間	金 額
旭駐車場 管理業務委託	千円 24,408	前年度末 までの支出 (見込)額	2016(平成28)年度 ～ 2019(令和元)年度	千円 18,923
		当該年度 以降の支出 予定額	2020(令和2)年度	5,485
真鶴道路 施設保守点検業務委託	258,779	前年度末 までの支出 (見込)額	2018(平成30)年度 ～ 2019(令和元)年度	169,848
		当該年度 以降の支出 予定額	2020(令和2)年度	88,931
料金徴収等業務委託	1,024,974	前年度末 までの支出 (見込)額	2019(令和元)年度	302,346
		当該年度 以降の支出 予定額	2020(令和2)年度 ～ 2021(令和3)年度	722,628
駐車場管理業務委託	120,153	前年度末 までの支出 (見込)額	2019(令和元)年度	39,146
		当該年度 以降の支出 予定額	2020(令和2)年度 ～ 2021(令和3)年度	81,007
真鶴道路 受配電設備(西換気所) 更新等工事	159,000	前年度末 までの支出 (見込)額	2019(令和元)年度	—
		当該年度 以降の支出 予定額	2020(令和2)年度	159,000

2. 2020(令和2)年度 収入支出予算説明書

(収入)

(単位:千円)

款 項	予 算 額	内 訳
業務収入	2,454,789	
一般有料道路料金収入	1,682,007	
		本町山中有料道路 528,999
		三浦縦貫道路 513,992
		真鶴道路 639,016
一般自動車道料金収入	365,986	逗葉新道
駐車場料金収入	291,388	
		(公社保有資産の運用) (16,916)
		1 汐見高架橋駐車場 6,384
		2 林高架橋駐車場 8,033
		3 上の里高架橋駐車場 924
		4 小矢部駐車場 748
		5 西逸見駐車場 827
		(借用資産の活用) (274,472)
		1 寒川駐車場 10,541
		2 長者ヶ崎駐車場 15,828
		3 稲村が崎駐車場 17,479
		4 滑川駐車場 1,742
		5 大仏前駐車場 24,803
		6 下浦海岸駐車場 24,526
		7 下浦駐車場 785
		8 津久井駐車場 4,832
		9 吉浜橋駐車場 106,041
		10 材木座駐車場 21,689
		11 逗子海岸駐車場 15,185
		12 森崎大橋駐車場 4,211
		13 坂ノ下駐車場 2,772
		14 旭駐車場 17,738
		15 圏央道田端駐車場 6,300
業務雑収入	1,913	道路占用料、手数料ほか
受託業務収入	85,280	
		真鶴道路 大規模修繕に係る事業 道路災害防除工事(トンネル老朽化対策等)※事務費込み 85,280
付帯事業収入	28,215	休憩所営業料、自動販売機営業料
業務外収入	9,514	
雑収入	3,753	広告宣伝料収入(ドライブマップ広告掲載料)ほか
共済立替金(県)	4,761	共済組合掛金県負担分
特定預金収入	1,000	基本財産特定預金
(収入)合計	2,464,303	

(支出)

(単位:千円)

款 項 目	予 算 額	内 訳		
		節	金 額	説 明
業務費	80,327			
受託業務費	80,327			
受託建設費	80,327	真鶴道路 大規模修繕事業 道路災害防除工事(トンネル老朽化対策等)		
		工 事 費	80,000	
		工 事 雑 費	327	
維持改良費	614,610			
一般有料道路維持改良費	510,856			本町山中、三浦縦貫、真鶴道路
維持修繕費	510,853			
		工 事 費	510,853	
原因者負担補修費	3			
一般自動車道維持改良費	60,762			逗葉新道
維持修繕費	60,761			
		工 事 費	60,761	
原因者負担補修費	1			
駐車場維持改良費	42,992			
維持修繕費	42,992			
		工 事 費	42,992	駐車場
業務管理費	646,364			
一般有料道路管理費	326,119			本町山中、三浦縦貫、真鶴道路
管理施設費	1,695			
		営 繕 費	1,100	事務所内施設補修等
		機 械 器 具 費	595	自動車修理費等
管理事務所費	324,424			
		旅 費	199	職員の旅費
		印 刷 製 本 費	7,874	回数券等印刷代等
		光 熱 水 費	35,794	電気代、水道料等
		通 信 運 搬 費	4,165	電話料等
		消 耗 品 費	6,533	道路管理用資材等
		被 服 費	96	
		備 品 費	994	風向風速計更新
		賃 借 料	8,816	自動車リース料等
		公 課 費	1,279	固定資産税等
		保 険 料	4,087	火災保険料等
		修 繕 費	142	備品等修繕費
		雑 費	3,539	産業廃棄物処理費
		管 理 委 託 費	250,906	道路管理等業務委託等
一般自動車道管理費	120,890			逗葉新道管理費
管理施設費	3,768			
		営 繕 費	3,520	事務所内施設補修等
		機 械 器 具 費	248	自動車修理費等
管理事務所費	117,122			

(支出)

(単位:千円)

款 項 目	予 算 額	内 訳		
		節	金 額	説 明
		旅 費	261	職員の旅費
		印 刷 製 本 費	2,247	回数券印刷代等
		光 熱 水 費	9,240	電気代、水道料等
		通 信 運 搬 費	1,585	電話料等
		消 耗 品 費	2,785	道路管理用資材等
		被 服 費	91	
		備 品 費	959	風向風速計更新等
		賃 借 料	3,311	自動車リース料等
		公 課 費	2,287	固定資産税等
		保 険 料	915	火災保険料等
		修 繕 費	154	回数券自販機修理代等
		雑 費	569	産業廃棄物処理費
管 理 委 託 費	92,718	道路管理等業務委託等		
駐車場管理費	189,638			
管理諸費	189,638			
		印 刷 製 本 費	69	駐車券等印刷代等
		光 熱 水 費	4,788	電気代、水道料等
		通 信 運 搬 費	716	電話料等
		消 耗 品 費	2,352	駐車場管理用資材等
		備品費(固定資産)	411	ライブカメラ購入等
		賃 借 料	113,325	土地賃借料等
		公 課 費	1,450	固定資産税等
		保 険 料	309	火災保険料等
		修 繕 費	862	タイムレジ等修繕費
		雑 費	1,442	夜間金庫使用料等
		管 理 委 託 費	63,914	管理委託料等
付帯事業施設管理費	9,717			
管理施設費	3,894			
		営 繕 費	3,894	休憩施設補修等
管理諸費	5,823			
		光 熱 水 費	5,280	電気代、水道料等
		消 耗 品 費	17	施設管理用資材等
		公 課 費	476	固定資産税等
		保 険 料	50	事業活動保険料
一般管理費	403,677			
役職員諸給与	199,703			
役職員給与	199,703		32名分	
		基 本 給	75,491	17名分
		役職員諸手当	56,334	17名分
		嘱 託 手 当	67,878	15名分

(支出)

(単位:千円)

款 項 目	予 算 額	内 訳		
		節	金 額	説 明
管理諸費	203,814			
旅費	1,106			
		旅 費	1,106	県外旅費、職員の旅費等
事務諸費	37,738			
		諸 謝 金	2,852	弁護士報酬等
		会 議 費	11	打合せ等会議費
		印 刷 製 本 費	151	「公社概要」印刷費等
		光 熱 水 費	1,347	電気料
		通 信 運 搬 費	2,157	電話料等
		消 耗 品 費	1,620	事務用消耗品等
		賃 借 料	16,950	事務室賃借料等
		被 服 費	24	
		保 險 料	102	自動車任意保険等
		研 修 諸 費	391	講習会等負担金
		自 動 車 維 持 費	227	
		雑 費	11,906	諸協会会費等
法定福利費	37,448			
		社会保険料負担金	20,820	健康、雇用保険等事業主負担分
		共済公社負担金	12,113	共済掛金事業主負担分
		共済立替金(県)	4,515	共済掛金神奈川県負担分
厚生費	876			
		厚 生 費	876	職員健康診断等
公課費	117,032			
		公 課 費	117,032	消費税及び地方消費税
広報宣伝費	9,614			
		広 報 宣 伝 費	9,614	広域ドライブマップ印刷等
交際費	160			
業務外支出	1,036,298			
市中銀行等借入金取扱諸費	1,018,774			
		借入金元金償還金	1,000,000	本町山中(県、市中銀行)、 三浦縦貫(国交省、市中銀行)
		借入金支払利息	18,774	本町山中(県、市中銀行)、 三浦縦貫(市中銀行)
雑支出	17,524			
		損 害 賠 償 金	1	損害保険免責額
		退職給付特定預金	16,522	前年度末所要額から今年度末所要額の差引積増額
		諸 払 戻 金	1	
		基本財産特定預金	1,000	基本財産運用
予備費	5,000			
(支 出) 合 計	2,786,276			

収支差 △321,973

3. 2020(令和2)年度 役職員定員表

区 分	人 数	備 考
役 員	3(2)	()内は、非常勤役員で外数
職 員	29	
計	32(2)	給与支弁者数 32